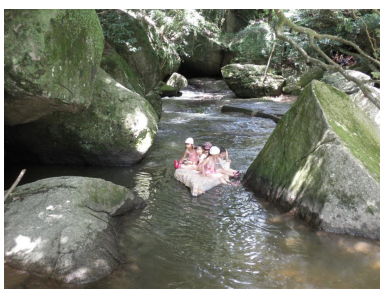


一枚一枚の写真に

子どもたちの物語があります

その物語を子どもたちと一緒に作りませんか





(うらもあります)

一枚一枚の写真に

子どもたちの物語があります

その物語を子どもたちと一緒につくりましょう

例えば、この写真の説明をしましょう。これは、年長児の川遊びの写真です。子どもたちが乗っているのは牛乳パックのふねです。

子どもたちは、「牛乳パックに乗れるなんて不思議だなあ」と感じます。あなたも子どもたちと一緒に「不思議だね」と感じてください。



先生の「牛乳パックでふねをつくって探検しようよ！」という誘いに乗って牛乳パックに水が入らないように布テープでとめていきます。年長児には布テープを切って貼るのはむずかしい作業です。しかも単調です。先生は、子どもたちに力を合わせる体験ができるように心で「がんばれ！がんばれ」と声援をおくります。

ふねらしい姿が見え始めました。子どもたちは、「ここはこうしたい」「ぼくはこうしたい」と自分の考えをだしてきます。みんなの意見を聞いて、みんなの意見をまとめていくのも先生の役割です。





あおいふねは後部が椅子になっています。あかいふねはふねらしく先がとがっています。どちらのクラスの子どもたちも「わたしのクラスのふねがいちばん！」と誇らしげです。



「先生が言った通り牛乳パックのふねが浮かんだよ。それでね、そのふねに私たちが乗って探検したよ。」「川遊びもしたし」「魚を捕まえたし」「先生、きょうの探検。楽しかったね」と、子どもたちから言葉をかけられます。「先生もすごくたのしかったよ」心からそう思う瞬間です。

帰り際、捕まえた魚たちをにがすとき
に「一緒に遊んでくれてありがとう。おか

あさんが心配しているよ。まっすぐお家に帰るのよ」と魚たちにおわかれの言葉を言っているのを聞いてなんだか心があたたかくなりました。先生もすごく、すごく、すご〜く、楽しかったよ。

1枚の写真にはたくさんのエピソードがあります。そのエピソードをあなたと子どもたちとで作りましょう。